

リハビリ専門職と連携した ケアマネジメントの実施状況について

京都市役所 健康長寿のまち・京都推進室
介護ケア推進課 認定給付担当

リハビリ専門職と連携したケアマネジメントの実施状況についての調査

調査の概要について

1. 調査目的 |

京都市内の地域包括支援センターでのリハビリ専門職と連携したケアマネジメント（介護予防支援・介護予防ケアマネジメント）の実施状況及び課題を把握し、今後の施策展開に活用するため。

2. 調査対象 |

京都市内の地域包括支援センター（61か所）

3. 調査方法 |

WEBアンケート 四半期ごと（7月、10月、1月、3月）に各包括へメールで依頼

4. 調査期間 |

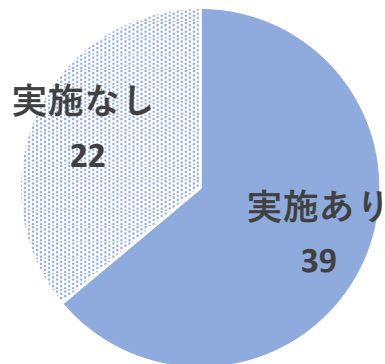
令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

結果の概要

リハビリ専門職と連携したケアマネジメントの実施状況について

Q2 リハビリ専門職と連携したケアマネジメントを実施された機会がありましたか？

リハビリ専門職と連携したケアマネジメントを実施している包括数（４期延べ６１包括中）



市内６１包括のうち

リハビリ専門職と連携したケアマネジメントの実施について

一度でも「実施あり」と回答した包括が３９か所（６４％）

一度も「実施なし」と回答した包括が２２か所（３６％）

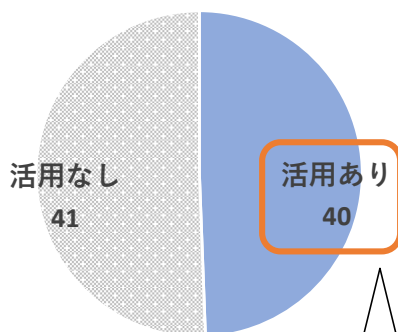
全体の約６割の包括で、リハビリ専門職と連携したケアマネジメントを実施する機会があったと回答あり。

連携したケアマネジメントを「実施している」と回答した包括の現状 1

Q3

「地域包括支援センターの事例検討会及びアセスメント訪問に対するリハビリ専門職派遣事業」を活用されましたか。

リハビリ専門職派遣事業の活用有無
(Q2実施ありとした延べ81回答のうち)

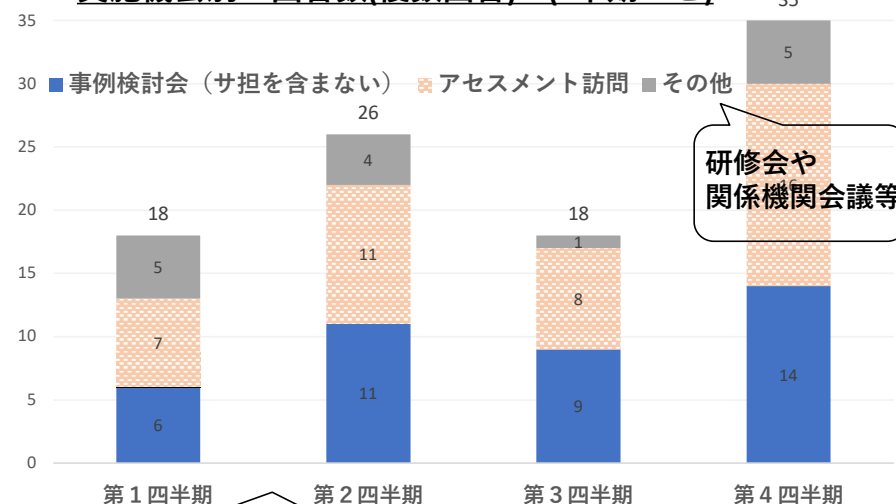


連携したケアマネジメントの実施機会のうち、約半数で京都市のリハビリ専門職派遣事業が活用されている。

Q4

リハビリ専門職と連携したケアマネジメントを実施したのはどのような機会ですか？

実施機会別の回答数(複数回答) (4半期ごと)



延べ回数：事例検討会 57回 アセスメント訪問 107回
4半期ごとにおける平均実施回数 (回答した1包括あたり)

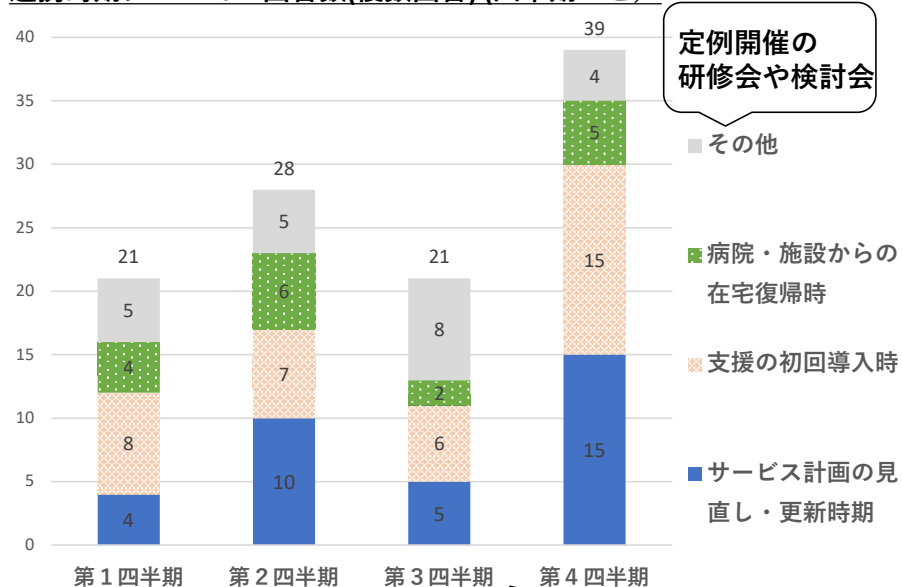
事例検討会：1.4回 アセスメント訪問：2.5回実施

「連携している」と回答した包括の現状 2

Q5

リハビリ専門職と連携した時期はいつですか？

連携時期についての回答数(複数回答)(四半期ごと)

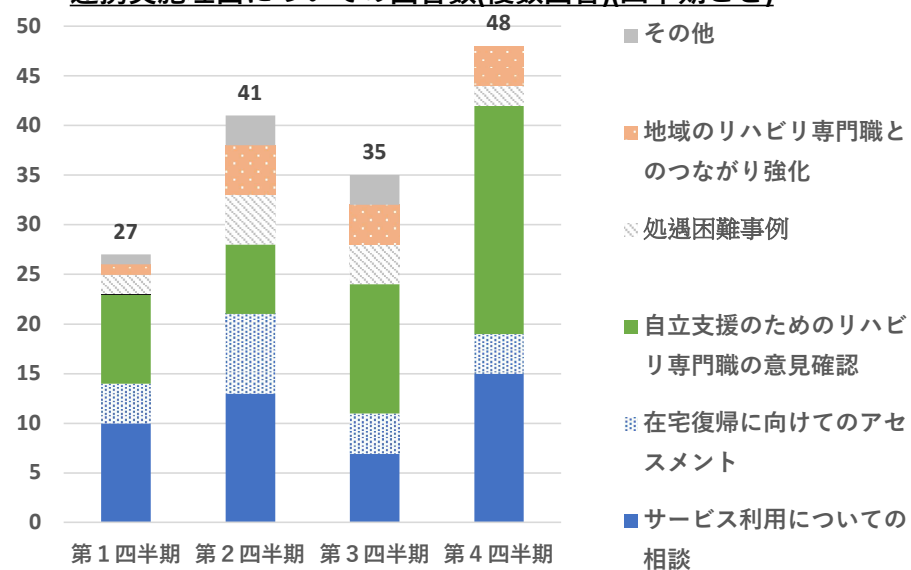


支援開始前後、どの段階でもリハビリ専門職の介入ニーズがあるといえる

Q6

リハビリ専門職と連携したケアマネジメントを実施した理由はなんですか？

連携実施理由についての回答数(複数回答)(四半期ごと)



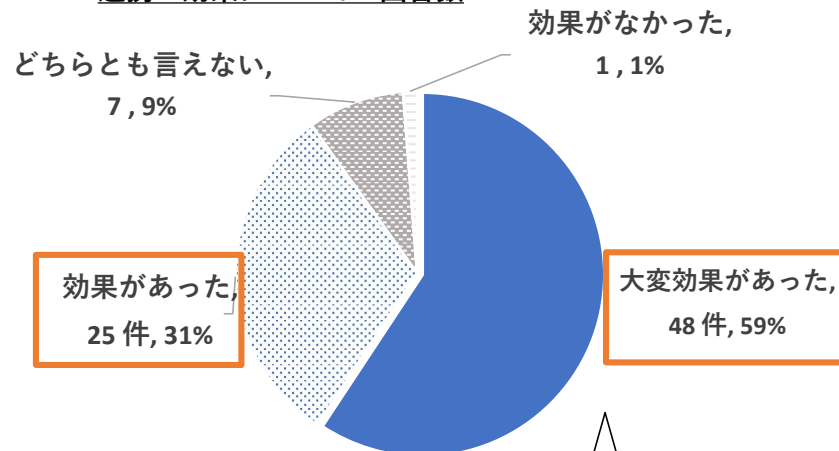
リハビリ専門職の専門性がもたらす効果を期待し連携している場合が多い

「実施している」と回答した包括の現状 3

Q7 リハビリ専門職との連携の効果について

連携を実施しているとした回答（81件のうち）

連携の効果についての回答数



「大変効果があった・効果があった」あわせて
90%（73件）が今後も連携を予定していると回答。

連携の効果についての意見（自由記載欄から）

ケアマネジメントにもたらす効果について

プラン作成や見直しに有用。
利用者の状態把握や、適切な目標設定、サービス選定に役立つ。

利用者の意欲向上について

リハビリ専門職から直接励ましや具体的なアドバイスが得られ、利用者のモチベーションが向上する。

アセスメントの質向上について

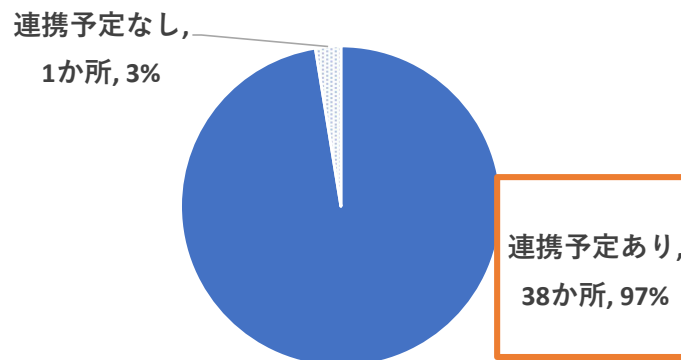
専門的な視点による評価を知り、連携したケース以外でも詳細なアセスメントが可能になり、包括的な支援に繋がる。
居宅介護支援事業所にもリハビリ専門職との連携の必要性を伝えられる。



「実施している」と回答した包括の現状 4

Q7 今後（今後も）、リハビリ専門職と連携したケアマネジメントを実施する予定はありますか？

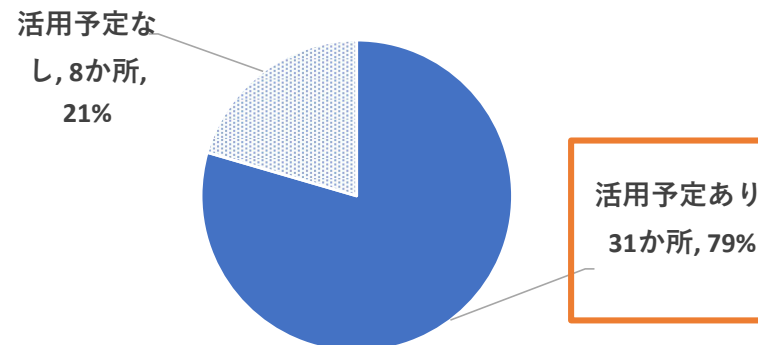
連携を実施していると回答した包括（39か所）のうち
連携予定の有無



既に連携したケアマネジメントを実施している場合は、ほぼ全ての包括で今後も連携を継続していくと回答。

Q8 今後（今後も）、リハビリ専門職との連携に本市の「リハビリ専門職派遣事業」を活用する予定はありますか？

連携を実施していると回答した包括（39か所）のうち
「リハ職派遣事業」活用予定の有無



既に連携したケアマネジメントを実施している場合、リハ職派遣事業の活用を希望する割合が多い。

「実施していない」と回答した包括の現状

Q2

リハビリ専門職と連携したケアマネジメントを実施していますか？（再掲）

「連携を実施していない」と回答した包括22か所

「連携を実施していない」と回答した理由について（自由記載欄から）

● リハビリ専門職との連携意識に関する課題

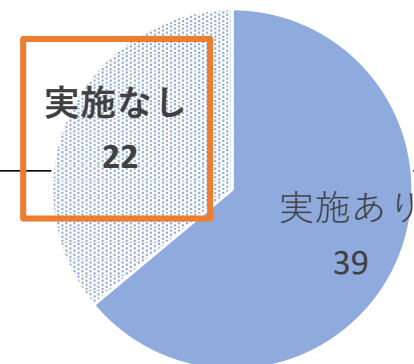
- ・ 普段から連携できているリハ職がいれば、改めての連携は必要がない。
- ・ 包括内で日々事例検討はできており、あえてリハ職との事例検討会を行う必要はないと考えている。
- ・ リハ職も多忙を極めているため、相談できるのは緊急性の高い事例に限ると思う。

● 地域連携についての課題

- ・ 地域のリハビリ専門職とのネットワーク構築が不十分であり、地域理解を深める機会も不足している。
- ・ 連携機会が限られていて（サ担等）、それ以外の連携方法が分からない。

● 体制面についての課題

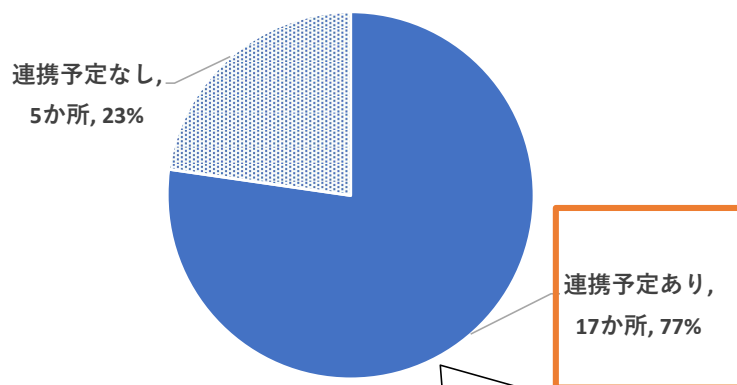
- ・ 連携したケアマネジメントに興味はあるが、日々の業務が忙しく、事例検討会開催の準備や調整が難しい。
- ・ 新たな連携体制の構築や、活用にまで時間を割くことが難しい。



「実施していない」と回答した包括の現状 2

Q7 今後（今後も）、リハビリ専門職と連携したケアマネジメントを実施する予定はありますか？

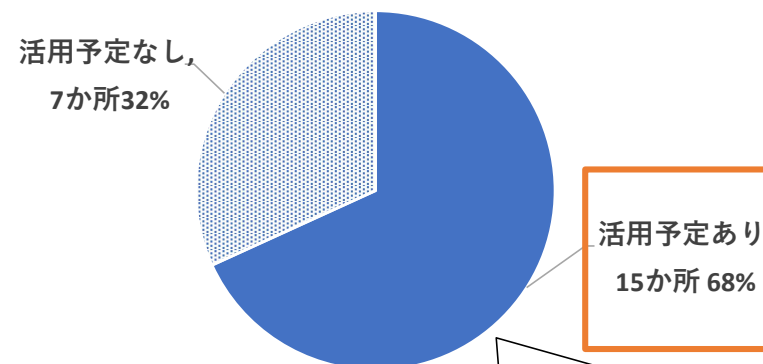
連携を実施していないと回答した包括（22か所）のうち、
連携予定の有無



連携したケアマネジメントを実施していない場合でも、
約7割が今後連携を予定していると回答。

Q8 今後（今後も）、リハビリ専門職との連携に「リハビリ専門職派遣事業」を活用する予定はありますか？

連携を実施していないと回答した包括（22か所）のうち、
「リハ職派遣事業」活用予定の有無



連携したケアマネジメントを実施していない包括でも、
リハ職派遣事業を活用することが、連携したケアマネジメントの実施に役立つといえる。

【事例紹介】リハビリ専門職と連携したケアマネジメントの実践例

事例 1

A包括

リハ職
派遣事業
活用あり

- 連携回数（R 6 年度） | 事例検討会 3 回 アセスメント訪問 9 回
- 連携内容
 - 【アセスメント訪問】利用者の歩き動作の評価、目標とする生活の検討等。
 - より遠い場所へ行けるようになる可能性に気づき、目標をプランへ反映させた。
 - 可能性を引き出したプランになり、利用者のモチベーション向上にもつながった。
 - 【事例検討会】長期間訪問リハを利用している利用者の支援方針の検討。
 - リハビリ導入前に目標を設定し、自立に向けた支援を行う必要性を共有できた。

事例 2

B包括

リハ職
派遣事業
活用なし

- 連携回数（R 6 年度） | 事例検討会 0 回 アセスメント訪問 6 回 その他 6 回
- 連携内容
 - ・ 病院のリハビリ専門職と退院前に自宅訪問し、家屋環境を評価した。
 - ・ 通所リハビリ事業所のリハビリテーション会議へ出席した。
 - ・ 訪問リハビリ事業所に支援方針について照会した。

他事例では、法人内のリハ職との事例検討
介護予防推進センターのリハ職と同行訪問
一般介護予防事業利用時の調整など回答あり

【まとめ】なぜいまリハビリ専門職との連携が重視されるのか

- 介護予防ケアマネジメント等の対象者のうち、改善の見込みがある方については
再自立（＝リエイブルメント）を目指せるケアプランを作成することが重要
- 住み慣れた地域で安心して生活をするためには、より利用者の力を引き出し、自立した日常生活の継続を目指した介護予防ケアマネジメント等の展開が不可欠。
- リハビリ専門職との連携により、
 - 地域で活動する**リハビリ専門職**が得意とする分野の**知識**や**技術**の手助け
 - **アセスメント力が向上**することで個別性に合わせたプランの作成に繋がる
既存の介護サービスに乘せる以外の**新たな支援の選択肢**が生まれる**可能性**

リハビリ専門職を含めた多職種との連携をさらに推進できるよう、
今後も介護ケア推進課では、研修や事業等を実施していきます。

【まとめ】多職種と連携したケアマネジメントに関連する情報

- 京都市事業「地域包括支援センター等におけるリハビリ専門職派遣事業」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000252718.html>
- 京都市事業「自立を目指した介護予防を深化させるための研修」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000336417.html>
- 「京都市版介護予防ケアマネジメントの手引き」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000277223.html>

「リハビリ専門職派遣事業」の活用についてのアドバイス

これはリハビリ専門職に頼る案件なのか？ということでも、

「とりあえず電話して聞いてみよう！」

「メールで問い合わせてみようか！」でOK！

ぜひ、リハビリ専門職との連携を図ってってください。

京都市域京都府地域リハビリテーション支援センター コーディネーターM様

